

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

読書環境充実事業

事業の経過・背景・課題

- 国が策定した「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、読書離れが進む児童生徒が魅力的な本と出会う機会を拡大するため、学校図書館の環境を充実し、子どもたちが本に親しむきっかけをつくる。
- 子どもの読書活動推進を図るため、南丹市教育委員会においては、図書館司書（ことばの力育成支援員）の配置や市立図書館と連携した取組を進めるなど、読書環境の充実を図っているが、子どもの図書の貸出冊数の増加につながっておらず、活字離れが進んでいる課題がある。

取組内容

交付実績額： 5,517 千円

- 学習用タブレット端末が全児童生徒に配布されたため、学校図書館に併設されているコンピュータールームが現状活用されていない。
- そこで、小学校は、コンピュータールームを読書に親しむスペースや、調べ学習、中学校は、個別読書・学習できるスペースに改造し、子どもたちが本に親しむ環境を整備した。



事業の成果・今後の展望等

- 児童生徒がより気軽に学校図書館を訪れる環境を整えることで、本に慣れ親しむ雰囲気をつくりだし、読書活動の活性化につなげていく。また、中学校は落ち着いて学習ができる環境が整ったため、学力の定着が図れると期待できる。
- 中学校には、さらに個別ブースを増やしていき、落ち着いて読書や自主学習ができるスペースを確保する。また、小学校はさらに本に親しむことができるような本の配置や掲示の工夫を行うことで、読書活動を推進する。